決算特別委員会の審査報告

決算特別委員会：8人（奥西伊佐男委員長、水野恭子副委員長、上田毅、岡本茂樹、岡本亮一、河田美穂、小林喜代司、米澤修司の各委員）は10月4日、16日、18日、22日、23日、30日の6日間委員会を開催し、9月定例会で付託した平成24年度一般会計など9件の決算認定案について審査を行いました。

審査は部局別に行い、最終日には5会派による総括審査を行った後、決算認定案をすべて認定しました。主な質疑は次のとおりです。

議会事務局・安心まちづくり室・企画政策部・総務部・消防本部・出納室・上下水道部・各行政委員会

問 他市に比べ投資的経費が少ない。本市の財政状況ならば事業を増やせるのでは。

（副市長）他市に比べて必ずしも少なくないと思うが、扶助費を含め必要経費は増えている。施設の更新計画等を考慮し、財政の許す範囲で積極的な施策に取り組みたい。

問 市民税が増収になって、市民への還元施策をどのように展開していくのか。

（財政課長）年少扶養控除廃止により増収となった。主に教育費を中心に歳出が増えており、子育て支援を始めとして増収分を市民生活向上に有効活用していきたい。

問 公用車を一元管理し、低公害車の導入も進めているが、廃車車両の取り扱いは。

（管財情報課長）これまでにバス1台、公用車2台をヤフーオークションにより販売している。今後も公売により売れる車両は販売する予定。

問 自治会に加入していない方等への広報配布は。

（秘書広報課長）郵送対応が約100件。その他、市内のスーパー及びコンビニに配架スペースを設置させていただき、15から20部を置いている。

問 消防団育成強化事業の徹底と、入団希望者が増えるような魅力ある消防団を。

（消防総務課長）現在、団員数は315名で、若干定数に満たないが、魅力ある消防団づくりを本部役員と協議し、様々な勧誘活動を続けたい。

問 災害備蓄品整備事業で避難所となる各学校への倉庫設置計画の進捗は。

（安心まちづくり室担当課長）平成23年度から毎年3校ずつの計画で、現在9校に設置済み。26年度で残り3校に設置すれば、市内学校の避難所には備蓄倉庫が揃う。

学校敷地内に設置された防災備蓄倉庫

市民部・健康福祉部

問 介護保険料が上がって、不服審査請求も出ていると思うが、状況は。

（国保医療課長）平成24年度で約20件の不服申し立て申請があったが、25年度は今のところない。介護保険料徴収の際にご意見を聞き、国や府に改正を申し入れている。

問 生活保護世帯が増えているが、暮らしの資金貸付や生活厚生資金を受ける件数が減っているのはなぜか。

（健康福祉部長）暮らしの資金貸付は社会福祉協議会に委託し、年2回のみ実施。生活厚生資金は保証人など、条件が厳しく、若干減少。主な要因は、社会福祉協議会の生活福祉資金貸付が充実したこと。

問 女性交流ルームは今後もアルプラザに設置するのか。

（副市長）設置場所については、今後の公共施設の整備と合わせて、全体の効率性も考えながら検討していきたい。

問 みみづく保育園の移転工事の進捗と、交通安全対策は。

（子育て支援課長）造成工事は完了し、建築工事をされている。山手幹線と市道の交差点に隣接するため、送迎用駐車場と横断歩道を設置する予定。

移転工事が進むみみづく保育園

問 コミュニティ助成事業補助金の実績が少ないが。

（市民参画課長）24年度には13の区、自治会から申請があったが、自治会センターで採択されたのは4件だけ。東日本大震災以降、復興に関する申請が優先されている様子。

問 各種税金のコンビニ収納の状況はどうか。

（税務課長）市民税が約7000件で2億円、固定資産税が約9000件で3億3000万円、軽自動車税が約7000件で2800万円など。収納促進効果はあると考える。

建設部・経済環境部・農業委員会

問 JR松井山手駅に身障者用の一時駐車場を整備するため予算化されているが、実施できていないのは。

（施設整備課長）今年度に予算を確保して、実施に向けた協議を地元区としているが、なかなか合意点が見出せない状況。理解が得られないまま整備を実施するのは困難。

問 水辺の散策路環境整備検討事業の進捗は。

（建設部副部長）一部繰り越しになるが、現在は完了済み。北、中、南の3ブロックに分け、北部で2、中部で4、南部で4の計10ルートが成果として候補地にあがった。

問 公園の整備や道路の改善など、市民要望は建設部に係る部分が大きいが、今後の積極的な推進の考えは。

（建設部長）身近な施設整備による安全・安心というものは、市民の要望を受けて整備できるものからしていきたい。

歩道が整備された踏切
（ＪＲ京田辺駅南側）

問 し尿処理費に4000万円支出している。下水道普及率95％以上という状況で、今後の処理場の見通しは。

（清掃衛生課長）費用の約半分はくみ取り委託料が占める。下水道の普及で、順調にくみ取り量は減少していると考えるが、今後はより効率的な運営をしていきたい。

問 良質米奨励金は1等米のみだが、2等米への助成は。

（農政課長）1等米30㎏に対して500円を助成している。現在1等米の収穫率は34・5％まで落ち込んでいるので、さらに良質米を出荷できるよう助成するための取り組み。

問 公共施設における太陽光発電量の目標数値は。

（環境課長）平成29年度末で150㎾を目標に、現在5カ所に設置し、実質100㎾を超える。残り50㎾で達成する。

教育部

問 学校トイレにおける洋式便器の割合は。

（学校環境整備課長）平成25年3月末現在で、小学校が37％、中学校は34％。最終的には50％以上にしたいが、スペース等の問題解決が必要である。

洋式トイレが設置された学校トイレ

問 小学校単位で実施した「放課後こどもプラン」の成果と人気のあった内容は。

（社会教育・スポーツ推進課長）全体で延べ2465人の参加があり、最も多かったのは644人が参加した草内で、地域の老人会などの協力で実施したカローリングや、書のパフォーマンスという内容。

問 学校図書の充足率100％と、内容の充実を図ることについて、教育長の方針は。

（教育長）学力テストでも、読書時間との関係が言われており、図書の充実は大変重要だと認識している。今後もより一層の努力をしていきたい。

問 教育委員会の非正規職員の割合が、77・4％というのは多すぎでは。

（教育総務室担当課長）市全体の方針の中で配置しており、正規職員のいない施設等では、再任用職員や嘱託職員を配置して対応している。

（教育部長）厳しい割合だと考えるが、市にも十分要望し、少しでも改善したいと考えている。

問 昭和43年には田辺町史が、62年には近代史が編さんされている。新たな近代史を編さんする考えは。

（教育部副部長）教育委員会も関わり、市全体として関係部局と十分調整、協議をしていきたい。

（教育長）歴史的資料については多くの作業を要する。教育委員会が所管する以上、今ある資料の整理も重要視して手がけなければならない。

平成24年度・市の家計簿チェック

会計別決算収支状況

会計区分		歳入	歳出	差引
一般会計		225億7156万6030円	220億1524万2773円	5億5632万3257円
特別会計	松井財産区	2542万7324円	2542万4483円	2841円
	国民健康保険	60億6665万3824円	60億2593万8958円	4071万4866円
	休日応急診療所	2143万4178円	2120万0331円	23万3847円
	公共下水道事業	20億6565万1912円	20億5502万7844円	1062万4068円
	農業集落排水事業	5305万9572円	5297万4604円	8万4968円
	介護保険 保険事業勘定	33億8709万8497円	33億6568万9624円	2140万8873円
	介護保険 サービス事業勘定	1819万6401円	881万8403円	937万7998円
	後期高齢者医療	5億8513万2462円	5億8401万5499円	111万6963円
計		347億9422万0200円	341億5433万2519円	6億3988万7681円